艸花銘志

伊藤篤太郎記
尾張 子爵 藤 介 記
寺 7
406

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

安ノ字ヨリ志ノ字ニ終ル

特7-406

伊藤大記
尾張伊藤重介之記

阿

赤車使者

一名小錦枝

珠砂根（アキ）

紫金牛（アカメマンテマ）

葵（アフヒ）

一名露葵　滑菜

實名冬葵子　十二月採之　藥用多

和名アフヒ　心アフヒ　異名集略遠汉

李時云葵葉傾日不使照其根乃智汉採之云云。左傳云葵者猶能衛其足是也

尾張伊藤重介之記

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

古五菜之一種ニテ為常食救荒野譜云葵正
月種者為春葵六七月種者為秋葵八
九月種者為冬葵其葉易生為百蔬
之主云今廃不食故ニ艸部ニ入

蜀葵（アフヒ）

一名戎葵　呉葵　國花集名道家將裘
一丈紅　對人冠　羊丈紅　蜀黄
和名ヤウアフヒ　常ノ花ハ木槿（モクケ）ニ似リ咲アヒニ也花ハ木槿
ノ花ニ似リ或云其花五月自下開初徐（ソロ）至
上稍開盡時（ツクン）為梅雨之終ニ為歳大抵如此
種類多單辨重辨紅白花可愛
一種錦（ニシキ）葵（アフヒ）　一名銭葵

花至テ小ク俗小アヲヒト云
一種向日（ムカフ）葵　一名西番葵
接スヘシ加茂葵此ノ種トワ大キニ別也

紫陽花（アヂサヰ）

木也今艸部ニ出ス
一種額艸

藍（アイ）

救荒本艸名大藍　松藍
一藍澱（アイカフ）　アイノ汁
一青黛（アヲノ）　名靛花　青蛤粉

薊（アサミ）

有大小二種大者名虎薊　馬薊

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

猫蒭　刺艾　山牛蒡　千針艸
雞項艸　野紅花
和名鬼アザミ　山アザミ
鬼ノ眉掃
小者名刺蒭菜　呼青刺蒭　救荒本艸
サワアザミト訓ス　二種共ニ菜食ス
一種苦芙　鉤芙　苦杈
和名メアザミ　ヤマナコシ
野菜譜ニサワアザミト訓ス　蒭ノ類種也
一種俗ニ菊蒭ト云
苣菜苦苣ニ似テ苣ニ白汁アリ秋ニ至テ
黄花ヲ開キ小菊ノ花ニ似タリ

大麻（アサ）
一名火麻　黄麻　漢麻
雄名枲麻　牡麻　雌麻名苴麻　又
萼麻　花名麻黄　麻勃
救荒本艸名山絲苗
和名苧（ヲ）　苧（アサカラウ）
往古五穀之一
沸雲艸
敦盛艸
俗花白色者熊谷艸ト云同物也
粟盛艸
又泡盛ト書ス

他名艸
秋牡丹
東妻菊
慘菜種類
逢坂艸
又鼻ノ口尻云
日出艸
藜縷也　日出艸出所末審
阿羅漢艸
狗尾艸也
アキナシ
或云ヲモタカ

荒世伊登岐一
蠻種
阿檀
蠻種　キリニカリ　サホテンノ類
阿於登花
鴨跖艸也
彦艸
按スルニ艸ノ名ニ非ス和漢朗咏詩ニ
岸額離レ根艸　之由ルトキワ岸ニ生ル艸ヤ
醯艸　觀身
八丈嶋ヨリ出ル大和本艸菜部ニ載タリ圖會ニ
アシタバト訓ス葉畧似ニ葉芹一而ニ三椏ニ三

葉而青背白色甚光滑有細鋸歯互生
葉薬弱此艸四時不凋云云又八丈艸ト云
治瘡瘍

有馬艸

此艸有馬ヨリ出ル依テ名トス圖會ニ云花ハ
蘭ニ似タリ葉ハ梭櫚葉ニ似タリ

槙列有馬ノ產
有馬艸

朝露艸

錄錢花ノ名

鴉葱　和名未知

火焔（アヤナ）菜

救荒本艸

過蘆（アロンナ）菜

農政全書

白苣（アマヂサ）

一名苦苣　生菜

穀部

粟

一名秫粟

本邦三種アリ

一俗呼テ餅粟ト称ス盃説云粘者為秫

即是也

一俗呼テ糯粟ト称ス不粘者為粟即

是也

一俗ニ黒澤ト称スルアリ穀ノ色黒シ故ニ名ク

支粟者民食之券一也許慎曰續於穀也

支斯謂之乎

一稗子 大アワ 前ニ出ス

赤小豆

一名赤豆 紅豆 荅 菉名藿

一称ス大納言赤小豆者アリ深紅色ニシテ形

大也味勝タリ雲列ニ出ルモノ紅色ニシテ

大ナリ紅豇ノ實ノ如シ他邦ニ稀ナリ

一小粒ニシテ淡黒赤ノモノアリ味劣リ諸

列ニ多ク産ス

時珍云八穀之一也本邦民用ノ用甚多シ

又解湿熱通小水之功尤奇

穭豆

一名沿籬豆 蛾眉豆

藥用ノ白穭豆ナリ

和名ヒラマメト云

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　ガラス使用

菜部

胡葱（アサツキ）

一名回々葱　蒜葱
李朝式和名抄名島蒜　又蘭葱

藜（アカザ）

一名菜　紅心灰藋　鶴頂艸
臙脂菜　或名舜芒穀　紅落藜　出所未審
一種灰藋　灰滌草　金鎖夭
救荒本艸名灰菜　アヲアカザト訓ス
一種秦荻藜　和名スヒキ

油菜　魚出ス

蔓艸一

牽牛（アサガホ）子

一名黒丑　草金鈴　盃覆艸　狗耳艸
按スルニ本艸ニ二種アリ本邦實ノ浅黒ノモノ多シ白實ノモノ未タ見ス
一種姫路朝貌ト唱ニ称スルアリ蔓細（ホソ）シテ延ビ鉢植ニシテ机上ノ翫トシテ芳茗ヲ啜ノ助トセリ
一種ニ葉朝貌ト称スルアリ蔓ナシズ二葉ニシテ花開可愛
一種朝鮮朝貌　下品　即曼多羅花ノ前ニ出ス

此余花ノ色種々アリ實ヲ結ニ至テハ其形
相同
凡本邦朝臭名ニ二種アリ
一種詩鄭風有女同車ノ章ニ顔如舜華ト
此ハ今ノ木槿(モクキン)也ハチス又朝臭ト云ナリ
万葉ニ朝臭ハ朝露カケテ咲ト雖(イヘ)トモ
昼是也
一種ハ此牽牛子也是ヲ蔓アサガホト云ヤ
千歳(チトセ)藥
一名藥蕪　苣瓜
大和本艸云古來アマチヤト訓スルハ訛ナリ此
本邦ニナシ別ニ称甘(アマ)茶ト艸ト本邦ニアリト云リ

未通(アケニヤウ)

一名通艸　附支　丁翁子(ミ)名蘡薁
春蔓莖葉共ニ軟ナルモノ採テ食ス佳蔬
一種通脫木　一名通艸　活莵(メクリ)
離南

解毒(アミモノケシ)子

一名地不容　苦藥子

茜(アカネサウ)艸

一名蒨　茅蒐　茹藘　地血　深緋艸
血見愁　川車艸　四神艸　鉄塔艸
西天王艸　四岳近陽艸　風車児艸

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

防己（アヲヤヅミ）

一名解離　名解和名アヲツヅラト云　本艸綱目ニ清水ヲ納言枕艸紙ニアラヅヾラト載タリ按スルニ清水ヲ納言枕艸紙ニ注青鞭艸ト云即防己也

苳藤（アヲフヂ）

一名餅藤　感藤

アコタ风

大和本艸蔓艸類ニ出セリ今云唐茄子手

水艸

蓴（アサツキ）

荇菜也一名水葵　水鏡艸　鳧葵

臛子菜　按余　金蓮子　寧音戀

荇菜菜　著公鬚　楚詞謂ニ屏風一

救荒本艸名金蓮児　是也アサツト訓ス　藕蔬菜

詩呂南　参差荇菜是也アサツト訓スルヲ誤トセリ

大和本艸ニ荇菜ヲアサツト訓スルヲ誤トセリ

歌ヲ引テ証據ス

みまくほり沼のあやめの浮てのみ
あるいみるともなき我身哉

此ハ荇菜也荇菜ノ葉ハ浮テ根ハアラハレズ

一種別ニアサツキ在トシテ証ス

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

[illegible]
[illegible]の根をば あらふ

別ニアサ〳〵アリテ根ノアラハルヽヲ証ス

荇菜ノ根ハアラワレズ アサヽノ根ハアラワル〳〵也

又荇菜蓴菜睡蓮此ハ同種類ナリ又

萍蓬艸 アサヽ同種類ナリ大和本艸ノ説

至當明白ノ辨也按スルニ荇菜ヲアサヽト

訓スル事既久シ又二首ノ歌荇菜トアサヽト

分チタル氏思ワレズ二首共ニアサヽノ歌ナリ

唯根ノアラワルヽト違イナリ一首ハ

あるいはもなき物ゆゑとアサヽニ比而興シ其

身ノアサハカキヲ嘆シタル歌ナリ一首ハ水ノ

底ノ信ヲアラワシタルヲ咏シタル比而興セリ

二首共ニ六義ノ賦比興也アナガチ別ニ分タル

歌ニモ非ス愛ニハ古訓ニ隨テアサヽトセリ

一種アサヽ 萍蓬艸ノ類種 大和本艸

一浮蓄俗呼テ水葵トス故ニ誤テアサヽト

ス謬ノ甚キモノ也

菖蒲（アヤメ）

一名昌陽 堯逝 水剣艸

呂氏春秋云冬至後五十七日菖始生菖

者百艸之先生者云云根曰石菖根藥用

多一寸九節或一寸十二節道士專貴之

和名シヤウブ 音ニテ通称ス 又サウブ

一種錢蒲（セニ）俗呼テ高廉石菖ト云菖蒲ヨリ別テ作リ久ルモノ也同種也好事者鉢ニ水ヲ貯ヘ石ニトモナウシメ蓄葱ノ色コレヲ愛シ目ヲ澄シメ讀書ノ最良（サイリヤウ）トスルナリ

一種白菖　一名渓孫　蘭孫　水菖蒲

昌陽　菖蒲　水宿　又謂泥菖蒲

古ノ文王好食之（スルト云）乃是也　和名アヤメ

花ヤウシ　實方中將ヨリ之ヲ云又花アヤメ氏云

前ノアヤメノ条ニ論ス　五月五日軒ヲ菖蒲（アク）葺

蒲是也　清少納言枕艸紙ニ

（傍線）

（傍線）

（傍線）

紫苔（アマノリ）

今称（ス）浅艸苔（トモ）者是也冬採之雨雲多キ歳ハ紫苔亦多シ北國ニテ雲苔（ト）ト云寒中採（モノ）味勝レタリ海藻中ノ清潔（ナル）モノナリ可（シ）佐之（ニ）相（ノ）潮（ニ）一名東武品川大森ノ産最多トス此余葛西苔伊豆苔冨士苔冰善寺苔皆産スル所ヲ以テ名トス同種ナリ

一種錦苔

春品川ニテ採（ル）紫紅色味芋又アマノリ

（朱）元云下品

乾苔（アヲノリ）　勢州ノ産名アリ

海帶（アヲメ）

蠶（アシ）

一名葦子艸　葭

箏名蘿　音券

爾雅謂之葭葦

和名郎アシ　勢州ニテ濱ヲ

擐トキヲ蠶ハ葦ヨリ小ナルモノ也芦葦一

物ナリ本邦ニテ今テ二種トス蠶ハ葦ヨリ

小ニシテ葉ハ大ナリ節ノ間（アヒダ）甚短シ雖波（ガタ）

矩ま芦ノ節ノ間ト讀ム是也圖會云

花名蓬蘆

山城鶏殿ノ産名ヲ得タリ之ヲ用テ簟（ヒサリ）簞（ゴ）ノ

簀（シタ）ヲ作ト云

一種箔（ヨカアシ）　蒻

葉葉

佐

未（サウシユツ）

未艸未ト出タリ一名山精　山蒭　馬蒭

楊枹（ホウ）音　山連　吃力伽

山薑　赤未　仙未

一種ニシテ葯未白未トシテ多クハ後世ノ

事ナリ多ニ未艸ニ隨テ一種トシテ出セリ

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

和名ヲケラ艸　又ウケラ艸
春苗菜ヲ採テ食ス佳蔬此花諸艸花ト
遠テ十分ニ開カヌモノヤリ
あるう浴垢手のゆるめるとも　歌林良才出ル
うきよう花の色うめもき

一種狗頭朮
一種歙朮
一種雲頭朮

鑽陽

和名ハチタケリ

三七

一名山漆　一名金不換

細辛

一名小辛　少年
和名ヒヤノヒタイ艸　ミヽうノ子
此根至テ細ク味辛　故ニ名リ　凡此根僞物ヲ以テ乱ス六種アリ圖會ニ載タリ
一杜衡　葉似馬蹄草微粗根曲テ而黄
白色味辛　杜衡乱細辛是也
一鬼督郵　一莖直上葉端生葉如纈ノ
根似細辛微粗直而黄白色味辛苦
一徐長卿　似鬼督郵而色黒者及已也
葉似小桑根似細辛微粗長而黄色
味辛而有臊気

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

一白微 葉似柳而根似細辛粗長黄白色
而味苦
一白前 似白微而白直味甘
一細辛

右六種苗莖葉ハ大キニ違ヘリ根ハ相同シ
銀碗盛雪明月隠鷺頼而不同真偽能ク
辨不可誤用也予聞コトアリ藥ヲ採ル者ハ
両雙眼藥ヲ用ル者ハ一隻眼藥ヲ服スル
モノハ無雙眼信哉此言
大和本州ニ加茂葵ヲ以テ
未審
本邦ニテ加茂葵ト称スル 御代ノ御紋ニ付
葵是也ニ葉蔓ノ如ニ出ル故ニ二葉ヤツラト
称ス立葵同物ナリ此花ヲ紋所ニ付花葵ト
云前ニ出ス蜀葵トワ別ナリ詑テ蜀葵ヲ紋
所ノアヲヒト覚ヘル人多シ愛ニ細辛ヲカ茂葵ト
云ニ付テ贅言ス

柴胡
一名地薫 芸蒿 山菜 茹州菓
梅スルニ柴胡赤霊州ナリ生所白鶴飛翔ト
云本邦相列鎌倉ノ立法天下ニ冠タリ

三稜
京三稜 州三稜 雞爪三稜 石三稜
黒三稜 此数名非別名

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

和名スゲ　古スゲ
八雲御抄　和名抄
実九月ト云

山蓟菜
山苽菜
山甜菜
忍零陵香
山梗菜
沢蘭
一名雞爪菜
山小菜
山扁豆
山菜豆

山白菜
山豆菜　一名山苦菜
山苦賁
山葛苣
柴進
右十四種和名未知
山蔓菁　救荒本艸
和名未知
山蘿蔔　救荒本艸
和名セリ　立書
山裏景児
一名山裏紅　映山紅景

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

農政全書　圖會ニ出セリ　和名未知

櫻川艸

風輪菜ノ事

サシモ艸

巴戟天也　文（サシモクサト云）　此ト別ナリ

覇王樹（サボテン）

蠻語　又イロヘロトフナツ

三波丁子

蠻種

博落廻（ハカヤケ）

和黄芩ト云訛謬之甚也

小々麦（コゞメ）

又サシミノ尻云

櫻艸

近頃奇品甚多人ノ好ニ依テ名花多出ル

人モ亦然リ　賢人アツテ賢ヲ好ムトキハ

亦復賢者多出ル

艸景（ケイ）

一名艸亜麻　涌蓋

珊瑚苔（サンゴナスビ）

俗称ナリ又呼ニ唐柹ト　救荒本艸名ニ天茄

苗児ヲコナスビト云ウシホウリツキ

若水先生云天茄子也　昂丁子茄子

一老鴉眼睛艸ト云天茄子ト云此ト別ナリ

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

白鷺艸

水田ニ生ス葉ハ柳葉ニ似タリ莖軟弱六七月
花開白色狀巖トシテ白鷺ノ如シ故ニ名ク
同種ニシテ連鷺ト称スル者アリ花相連テ鷺
ノ群飛スルヤ如シ此種稀ナリ
讃白鷺艸云　天性自然不假西金之氣而
受雪山之姿羽翼縶白皚距金具飄焚
白鷺艸眞我大日本之靈艸也
一種地ニツイテ生ズル小艸アリ春花開テ白色ナリ
可愛俗呼テサキ艸ト云鷺ノ狀ヲナス故ニ
名アリ亦紫色ヲ帯ル物アリ同種ナリ
一種莖葉花共ニ微小ナル物アリ　同種ノ小ナルモノナリ

釵子股

一名金釵股

艸犀

解毒ノ功犀角ニ同故ニ艸犀ト名
澤蘭ノ事　三口千氏云

猿腰掛

桑花

一名桑鮮　桑鐵
桑ノ木ノ白鮮ナリ
山慈姑
春二月葉ヲ生ズ水仙葉ニ似テ細長軟弱ナリ大

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

抽三四葉ニツヌギス莖ヲ抽テ頭花ヲナス
淺紅白色形鈴ノ如シ可愛根ハ水仙ニ似テ、
至テ小ナリ四月ノ始葉枯是時珍ヤ訢謂
山慈姑ナリ

一種金燈灯一名無義灯　鉄色箭
　鬼燈檠　朱姑　康蹄灯　一種康蹄灯アリ此ト別ナリ
和名蔓水仙又狐ノカミソリ
葉ハ水仙葉ニ似テ濶長ナリ根ハ水仙ト一般也
花アルトキハ葉ナシ葉アルトキハ花ナシ故ニ
無義灯ト云花深紅色形水仙花ニ似テ稍
頭ニ攅簇ス故ニ俗呼テ蔓水仙ト云山慈姑
金燈灯　水仙　同種類ナリ　水仙上品

一種石蒜　一名烏蒜　老鴉蒜　蒜頭灯
　漏々酸　一枝箭
此葉秋ノ末生シ冬盛ニ暮春枯ル花莖ノ末
開深紅色ナリ　花アルトキハ葉アルトキ
キハ花ナシ　和名ステ子花　シビト花
彼岸花　人ミ其名ノ悪ヲ嫌テ棄(モテ)アソバズ
一種綿棗児　和名サンタイ傘　又ワルボ
ンシャウロ氏云　石蒜ト同種類
葉石蒜ト一般ニシテ細長花ハ麦門冬ノ花ニ
似タリ其状サンタイ傘ノ如シ故ニ名ク根モ赤
石蒜ヨリ小ナリ此灯モ葉枯テ花開ナリ
饑饉ノ年民根ヲ掘テ食セリ

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

按ズルニ本艸細目山慈姑無義艸混シテ多
明ナラス圖會誤ヲ受テ無義艸ヲ山慈姑ト
セリ今多ク貝原篤信稲若水兩先生ニ隨テ
詳審明白ニ今載之

穀部

豇豆（サヽゲ）

一名豭豷（コウソウ）　倉經名大角豆　白角豆
和名サヽゲ　氏云種類多
一奴儂（ヤツコ）豆

一眼鏡（メカネ）豇豆
莢（サヤ）長ク延テ輪ヲナス眼鏡ノ形ヲナス故ニ
名ク

十八（ナカヤ）豇豆

莢長ク尺有余アリ實大拇十八九アリ
賤民呼テ十六サヽゲト云
或云農政全書ノ紫豇豆是也

一種朝鮮豇豆　唐サヽゲト云
日用之食豆中之上品

菜部

甘藷（サツマイモ）

一名朱薯　紅山藥　閩書名蕃薯

俗呼テ琉球芋　赤芋　長崎芋

初薩列ヨリ來故ニ斯芋ト云閩書ニ飢ニ

食シテ不傷ト云養老慈幼ノ功アリト云

蔬部

沙糖（サトウ）

或作沙餹　一名甘蔗　音柘　竿蔗　艹諸

一名蜜　俗呼テ冰沙糖

一黒沙糖

蔓艹

土茯苓（リンキウライ）

一名土萆薢　刺猪苓　山猪糞

硬飯　艹烏餘糧　仙遺糧

山地栗　冷飯團

俗呼曰山帰來ノ

和名カテクサ

菝葜（サルトリバラ）

ハウヤツ　ハウジク　ハウケイ

一名菝蓉　金剛樹　鉄刷子　又

救荒本艹名山莉兒

和名サルトリバラ

王瓜艹

鶯ノオルヤキ　ヱビワイバウ　五帝四高柴
掃スルニ和佐山歸來ト称シテ根ヲ採テ下
痢瘡毒ニ用ユ奇功アリ　又春苗蔓ノ
軟ナルヲ採テ菜蔬トシテ食ス又軟ナル
蔓ヲ採テ梅酢ニ浸シテ酒者トス又五月
柏餅ニ柏葉ナキトキハ此葉ヲ採テ包
鳴呼無毒ノ艸用ヲナス莫多焉

五味子（サネカヅラ）

一名茎蘵（シヨ）　音知　除

玄及　會及

蓬坂山ノ十子ヤブラト咏シタル此艸ナリ

水艸

佐加良女

圖會作末滑（ヌメ）海藻（アラメ）

素麺苔

鮫（カヂ）皮苔

櫻苔

菌蕈

皃茯苓（サイカチタケ）

此蕈食用スル人アレモ保養之人不食之

幾

菊（ナヅ）

一名節華　女華　女節　女莖　日精　吏生　治蘧　金蕊　陰精　周盈　傳延年

和名カウヨモキ　今音ニテ通称スル音ヲ以テ通用スル牡丹　桔梗　秋海棠　紫苑ノ類ナリ

支菊ハ晩秋ニ栄ヘ諸花ニヨクレテ開ク古人云氣稟ニ金行秀ヲ得ル徳備ニ黄中美ニ云々又辜鹿物詩霜露悴百卉時菊独妍葉故ニ菊ハ花ノ隠逸ナル者也称ス本邦仁徳天皇七十三年始テ異朝ヨリ菊種ヲ渡ス又ハ雲卿抄ニ菊ハ万葉集ニ詠ゼズ寛平菊合以後名物トハナレリト云其時ノ菊合ノ歌ハ古今集ニ載タリ今五種ト称スルアリ　鵝毛　玉牡丹　御愛　涼大白　酔楊妃　是ヲ唐種ト云近代名花ノ品数挙テ等フベカラス大輪ナルモノアリ度ハ八九寸大菊ト云品類数多又小輪アリ寸ニ満ズ小菊ト云品類数多又中輪アリ奇品艶姿不可枚挙也中菊ト称シテ

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

專賞翫ス唐大和詩文歌咏連歌俳諧之ヲ咏吟セサルモノナシ楚辞ニ夕餐ス秋菊落英云々陶淵明采菊東籬下云々禮記ニ野ニ薫花アリト出タリ今ヨリ数千年以前之ヲ貴賞スルヿ著古又名紫辣　金鎖甲　薛邪翁袖珍異名集ニ張祠部十客圖ヲ引テ壽客ノ名ヲ載タリ又和名数アリ

百夜艸　星見艸　初見艸　形見艸　冬菊ヲ云ヒ云フ　金子艸　手訓艸　乙女艸　残リ艸　千ギリ艸　齢艸　子代美艸

或書ニ名別艸　此和名未審

凡菊種類甚多シ前ノ大小中ヨリ変化セリ

曾我菊アリ承和菊ヒ云ヒ黄菊也同種ナリ

一種野菊

葉ハ菊ト同シ花黄色単辨ニテ小ナリ真ノ野菊ナリ味苦外治家花ヲ採テ油ニ入多用ユ

一蓬ナ菊一名仏頭菊

一濱菊

一紫夜菊一名加賀菊　越前菊

又貴布祢菊　此三種類而不同者也

一種蔓菊　四五月花開　袖珍異名集ニ　五月菊是也近代奇品アリ

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　ガラス使用

一種寒菊 本艸云冬菊是也 花ノ大サ頃ニ
開可愛 事林廣記云兒梅友菊豈不冥
乎此二種ハ真菊ノ別種ナリ

桔梗（キキョウ）

一名白藥 梗艸 葖荂
本艸云桔梗一物也今別テ二種ト
セリ 呉普本艸名利如 符廩 房圖
按スルニ蕪頌云葉似杏葉而長階四葉相
對而生嫩時亦可羹食云云 今ノトキ艸即
是也桔梗ノ形象ニ非ス 桔梗蓳強赤
青色 葉差互シテ出ル似テ別ナリ又非ス
用ト也

和名アリノヒフキ

ミノ葉艸 又ギチヤフノ
古今集物名 あまりのもの
歌ニ
ゆくりなくたちいでつれば
ふるさとの
ものとぞ
ゆく

ケ桔梗ノ音ニテ和名頁通称ス

萱花（キヤウクワ）

和名ハマニレ

鬼督郵（キトクユウ）

一名独揺艸

和名ヤドヤトシ 独活ト名同ニ別ナリ

金線重樓

一名蚤休 蚩休 三層艸 重臺
七葉一枝花 艸甘遂 紫河車

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

蟹休　白甘遂

金線童樓ヲ以和名セリ

吉利艸

錦地羅

金絲艸

右三種和名未知

薑黃

一名蓬莪朮　寶閉香

和名キ子

玉簪花

一名白鶴仙　白萼

和名高簾キボフシヒ云　又コロヒ

本艸云其葉大如掌圓而有光云云葉上ニ白粉ノ如キモノアリ深綠色葉厚

一種小玉簪アリ形狀前ト一般ナリ花葉小ナリ同種

一種紫萼　又キボフシト云

前ノ玉簪花ニ比スルニ葉薄ク淺綠色ナリ

葉ノ狀長大ニシテ不圓　莖ヲ採テ湯ビキテ食ス同種ニシテ別類ナリ

一種至テ小ナルアリ同種ナリ

一種筋紫萼　葉ノ筋白シ

一種青色相雜アリ俗呼テイサ葉ト云　俗稱皆キボフシト云

金盞花（キンセンクワ）

一名杏葉艸　長春花　ばらト同名別ナリ

救荒本艸名金盞兒花

一種銀盞花　白色者稀

牛尾蒿（キウビカウ）

映山紅（ヤマツヽジ）

前ノツヽジノ条ニ出ス

牛扁（キウヘン）

一名扁毒　或作扁特

和名藻鹽艸　タチツヽジ

レンゲ艸ト訓スル非也

此艸能治刺蕨云云

金銀蓮花

或云土白芷

篤信云此艸百川學海ニ出タリ

金沙羅

蠻種　ハウノ種類

毛茛（キンポウゲ）

一名毛建艸　水萇　毛蓮　天灸　猴蒜

此艸ヲ搗（ツキ）テ寸口ニ貼スレバ泡ヲナシテ火ニ燎（ヤケ）ル如シ

天灸ト云　俗ニ瘡ヲ切ル心　此ニテ灸スル意ヲ呼テ

艸落シト云

和名田苡子　俗呼金寶花

按スルニ俳書ニ金鳳花アリ即是也

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　　ガラス使用

吉祥艸

家ニ吉事アルトキワ花自開ト云俗スルニ此艸
木艸木花譜ニ載タリ圖會ニ出ス又山谷ニモ
谷渡リ艸ト云艸アリ此類ナリ
事艸ト云艸アリ此モ吉事アルトキワ栄ヘ花
開ト云圖會ニ形状ヲ画ケリ異ナリ 今カ晃
訴ノ艸ハ莖紫赤色ニシテ又青ニ葉ワ男
ヨモキノ葉ニ似テ厚ク光アリ寒ヲ畏ル根ヨ
リ多クフヘン其花ヲ見ズ

耆婆三礼艸

俗称ナリ早蓮艸ヲ云

宜(キナン)男艸

萱艸ノ別名

鬼蓋(キフタノカウカサ)

一名鬼繖 地蓋 鬼屋
和名狐ノ傘 狐ノ末香
狐ノヘブ袋 土ヤブリ氏云
血ヲ留ル能アリ或云打碎時煙眼ニ入トキワ
眼盲スト云

一種鬼箪(キフタノフテ)名朝生暮落花 朝生
李艸菌部ニアリ艸部ニ入
金燈籠(キンヒノトフロウ)

訓蒙圖會 無義艸ノ別名
或云宝鐸艸 末審 山慈姑ノ条下ニ委シ

金英艸
和名人涓(ケミ)　毒艸也人此艸ヲ藥服スレハ
血肉共ニ化シテ水トナリ髓骨ノミ殘ル故ニ名ク
透山根ノ一種ナリ　本艸毒艸部海芋ノ附錄
キうこ艸　透山猴集解出
或云蛇含艸
黃菪(キスゲ)
俗ニ黃菅(スケ)艸　按スルニ圖會ニ彩條児菜ヲ
スケト訓ス農政全書ニ本出タリ　此萱艸ノ類
ナうこ乎

金星艸
一名七星艸　鳳尾艸　金釗艸

石葦ノ類種ナリ
鴨豆(ナヅ)艸
鏡艸ト云　鏡艸ト云艸四種アリ
白歛　白前　螵蟟艸　同名異物

麒麟角
蠻種
麒麟艸
擬ハ同種乎　餘諸明題集　錏(キリ)蓋葉
景(ケイ)天ノ五字ニ作ル　未知出所
泥胡(キツチアリミ)菜
牛塘利
一名牛舌頭

救荒野譜

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

牛耳菜
銀條菜
右三種　救荒本艸　和名未知
野西瓜苗
俗名黍漢頭　救荒本艸
按スルニ画スル処ヲ見ニ前ニ出ス釜銭花ト
別ナリ一種アルベシ
百部根
一名婆婦艸　野天門冬
按スルニ本艸キシカリ子ト訓ス蜀會ニ一種
雉子竄艸ヲ載タリ百部ヲ別ニ出セリ
本艸蔓艸ニアリ

牛尿柴
一名羊尿柴
九仙子
一名仙女嬌

穀部

穀
一名稑　音祭　粢　音咨
本艸云八穀之一呂氏春秋曰飯之美者有南
陽之稑云云注闕西謂之麋　音糜　ウルフキミ
黍　粘者為黍　モチキミ

一赤黍曰蕘 音門　又糜 音糜
白者曰芑　黒者曰秬 音距
一稷二米曰秫 音朮

菜部

胡瓜（キウリ）
一名黄瓜
瓜ノハヤク生スルモノ也
行者蒜
一名天台蒜　行者臭ヤウガ生ヲ以テ食ス故ニ名ク
康耳葱　陽生葱

蔓艸

牛妳藤
金稜藤
祁婆藤
鬼膊藤
牛領藤
右五種 本艸
金瓜児
牛皮消
右二 救荒本艸

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

牛尾菜
圖會
吉釣藤
右九種和名未知

水艸

牛尾藻
キリキリス艸
蘭ノ事
金蓮花
一種花白者名銀蓮花

百合六月花開多蓄水種之可愛

菌蕈

木耳（キクラゲ）
一名木檽　木蛾　木蹤　木菌　樹雞
四五月雨後多生
諸木皆生スレ𪜈　櫲（エノキ）　梅（ニワトコ）骨木　此木ニ生ズ
ノ無毒上品

由

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

由跋（ユバツ）、和名未知

虎耳艸（コヤノシタグサ）

一名石荷葉

俗俗作雪下艸一花二瓣ナリ始稍頽ニ一輪開テヨリ〻順々ニ開リ大ナリ可謂奇矣

優殿（ユウテン）

本艸醍醐菜附錄

菜部

百合（ユリ）

一名雞（ケイ）音淆（コウ）　蒜脳薯諸　強瞿（キョウク）

重箱

治傷寒百合病藥用多食用者少味苦

摩羅（モウラ）

救荒本艸名中逢花

按スルニ圖會ニ琉球深山谷ヨリ出名秋百合ト云リ今東都ニテ薩摩百合トモ云ニ純白色花至テ大ナリ一莖一花毎ヲ纏（マトヒ）ノ二三花ニ至ル本邦深山ニアリ稀ナリ外科ニ花ヲ採テ麻油ニ浸シ用ユ治諸痛一

呼云鎌倉百合

和名白ユリ　サユリ

凡種類甚多

一種　透明（スカシ）百合

東都ニテ菱（スカシ）ト呼

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　ガラス使用

云上品可愛此種越後越中ノ境地ニ親シウズ子ニウスト云險難ノ所アリ天下ニ聞ヘタル難所ナリ崖巖ヲ見ワシキ岩間ニ此百合多ク立生スサヘキ巖ニ傍テヤサシキ花ノ姿アリテ五月ノ末花ノ盛リナイトウルワシ

一種博多百合　前ノ博多百合ヲ

花黄白色

一種竹嶋百合　未審

一種鳳皇閣百合　此種疑シ

一種扇百合

一種蜻蛉（トンボ）百合　黒ユリト云奥列ヨリ出ト云或ル云山海經ニ云菁蓼ヲ

花紫色ニ白ノ形鈴ノ如シ類シテ別物ナリ本邦名ヲ取テ実ヲ乱スモノ多シ

花紫黒色

黒百合

トンボノ百合

一種巻丹（エリ）

一名雷山丹　俗呼云鬼百合

料理百合ニ云

調菜必用之物前ノ百合ニ比スルニ味甚平徹苦故ニ本艸菜部ニ載ス

一種車百合
圖會ニ載タリ和列大峯ノ産勝タリト云
俗ニ鬼百合ノ類種
一種笹百合
葉ノ艸ニ似花白色紫黄ノ點アリ俗ニ
康子百合ト云此種類而別也俗ニホリヤキ
ス艸ト云是也
一種山丹（ヤマユリ）
一名緋山丹　紅百合　連珠　紅花菜
川強曜
百合ノ至テ小ナルモノ也和名抄百合ト云
赤黄ノ二色アリ白色ナルモノナシ

蔓艸

壺蘆（ユウカホ）
俗呼テ夕顔　源氏ホノボノノミユル花ノタ顔ト
咏シタル是也　食用ノ佳蔬ナリ薄ヘキ乾シタル
干瓢ト称ス調菜必用之上品秋氏家朝餐
暮食ノ佳菜ナリ　前ノフクベノ下ニ委シ

女

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

著（ノトキ）

救荒本艸名鉄掃箒
班固白虎通載孔子曰著之為言老者也老
人歴事更（ヲ）久事（モ）能盡（ツク）知（ル）云（ト）又博物志曰
著千歳而三百莖其本已老故知吉凶
圖會云吉野比叡山霊地有之大抵一茎十
莖而五十莖亦有云云

莫菉（メイケツ）

出（ヅ）尭時（ニ）瑞艸（ト）十（ヲ）リ

猶蕘（メナモミ）

一名希仙　火枕艸
虎膚　粘糊菜
猪膏艸　狗膏

此艸五月五日ニ採テ水ニテ洗イ砂土ヲサリテ日ニ
乾シ冰気ヲ去酒ニ浸ス事一昼夜之ヲ取出シ
蒸事一時計再ヒ日ニ乾シ亦酒ニ浸ス事一
昼夜亦蒸亦乾ス如此スル事五度シ後
刻テ炒リ細末シ蜜（ナイコウ）砂酒ニ一夜浸シ取出シ
炒リ等分ニシテ白湯ニテ日ニ三度送下ス
治（ヂ）中（ス）ル一切（ノ）至リ本艸蒙筌云至賤之艸（ト）雖貴
之功（ノ）信哉信哉

羅勒（メボウキ）

一名蘭香　香菜
脾子艸

此実ヲ採テ眼ノ睛（ヒトミ）ヘ入（レ）眼中ヲメクリテ塵
ヲ吸テ出（ス）奇十リ故ニ俗称シテ目ボウキト云

目ハシキ艸
益母艸ヲ云
綿糸菜
猫児朶
右二種和名未知

菜部

蘘荷(メウガ)艸
蘘荷謂根也
初生嫩苗白根者メウガ竹ト称ス花亦佳蔬

芹(ミツハ)艸
一名杏參　杏葉汝參　蘄芩　音庶
胡桔梗　白薜根　苗名隠忍
本艸桔梗ト相混淫スト雖モ今テ二種トス
即本邦ニ云トコロノ沙參ヒイ子イ氏音ニテ
云

蕨(ワラビ)艸
一名蘄　音欣　山陵潮湿
水青　鼠菊
和名水掛艸　又宿魂艸

鳥艸

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

挿スルニ小井集負徳云水掛艸ハ稲ノ事也多ハ七夕ノ歌ニ咏ス俳諧ノ書ニ此艸多ク魂祭ニ用ユルニ依テ水掛艸ト云ニ佳也

美人蕉
一名紅蕉

水去艸
芫花ノ事
挿スルニ芫花ノ和名キワナノ水去艸ト云不可混ス

耳聾（ミヽツンボ）
馬勃ノ事

薙（ミソモクサ）
一名馬唐　馬飯　革麻　革葉
軒干　蔓干
臭悪ノ艸也左傳云一薫一薙十年尚猶（ナヲ）有臭是也

水引艸
一名八字艸　又八幡（ヤハタ）艸
此艸花ノ形水引ニ似タリ葉ニ八字ノ形アリ故ニ名アリ挿スルニ大和本艸ニ海根ノステ水引艸ナウント云リ　本艸湿艸部ニ海根出ス

白脉根（ミヤコグサ）

三葉艸（ミツバハサウ）

前胡ノ事

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

狼尾艸（ミヤマシバ）

救荒野譜ニ載ス形状ヲ画スルニ即道芝ナリ
チヤラ艸氏云
按スルニ本艸棗部ニ狼尾艸アリ一名窟田翁
集解スル処野譜ト別ナリ一物乎亦別
種乎

萠艸（ミノコメ）　音細

一名皇　守田　守氣
羊箕一名守田同名異物
星宿艸（ミクニソウ）

圖會ニ載ス本農政全書ニ出タリ俗三國艸
ト云

菜部

野蜀葵（ミツハセリ）

佳菜也冬ヨリ春ニ至テ專食用ス
下学集莫蕎菜ヲミツバセリト訓ス未審

蔴部

蜜筒（ミツトウ）

真桑瓜ノ事

蔓艸

含水藤（ミツフジ）

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

一名大瓢藤

水艸

莢實（ミツブキ）

一名雞頭　雁啄　鴻頭　雞雁

卯蔓　蔦子（音唯）　水流黄

和名君バス

水蕨（ミツワラビ）

一名薑

呂氏春秋云菜之美者雲夢之薑即是也

按スルニ本邦山家ノ賤民蕨ト称スルノ一種

外大蕨アリト雖モ食セズ

萍蓬艸（ミクリ）

一名水栗　水栗子

和名抄名骨蓬　即川骨也大和本艸

圖會皆訓同

水藻

水松（ミル）

一名海松

水葵

ナキノ事也葉ノ形加茂葵ニ似ルヲ以テ名ク或專菜ト云說アリ非也

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406

ガラス使用

志

縮砂（シノシヤ）
一名縮砂密
和名ミカクサ
白豆蔻（シロツノ）
一名多骨
升麻（シヤウマ）
一名周麻　晃瞻升十一
和名トリノ足　ウタカ艸　本艸備要アハ
白及（シラヒ）
一名連及艸　茸根　白給
金光明經謂之圌達羅唱悉多
和俗呼干紫蘭又紫蕙ト云按スルニ
蘭ノ類ニワ非ス花形ノ似タレヨリ云ナリ
又鏡艸　氏云　ニウニ艸
白蒿（シラヨモキ）
一名蘩　由胡　蓫蒿　蔏蒿　音高
左傳云蘋蘩薀藻之菜可以薦于鬼
神差干王彖即是也
紫菀（シヲン）
一名青菀　紫蒨　返魂艸　夜牽牛
和名鬼ノシコ艸　シヲニ
古今集物名　シヲニト出タリ　本邦古来

ム二音相通ゼリ　蘭ノ
此類多シ又万葉集ニ
紫苑シヲニ
ヤマヅノ
ヤマヅノ
ヤマヅノ
桜スルニ歌林良材ニ云君ノシコ艸ハ物ワスレセヌ
艸せト云リ
一種女苑　シロシヲニ
一名白苑　織女苑
桜スルニ紫苑ノ白花ノモノナリ又羊鬚艸
芍藥（シャクヤク）
一名将離　梨食　白朮　一種白朮アリ此ト別ナリ
餘容
鋭

白者名金芍藥　赤者名木芍藥
開元遺事名醒酒華　又花宰相
異名集　金芍　婷金紫　益天工
醉西施　怨春紅　積嬌紅　含歡芳
國華集名菩薩面
和名良好艸　エビス艸
一種信濃芍藥
山野ニ生ス花白色ニシテ單辨也是ヲ艸
芍藥ト云
一種宇多芍藥　根白色如山藥
右三種共ニ藥用多シ
古来牡丹ヲ花王ト称シ芍藥ヲ花相ト称ス

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

本艸云洛陽牡丹揚列芍藥甲于天下云云本邦品種数十種アリ

虱建艸（シラミコロシ）

前ニ出スホトトキス艸

莽（シキ）艸

一名茵艸　音圀　芒艸　鼠莽（シ）

未也本艸毒艸部ニ出ス按スルニ本艸古来シキミト訓スレド未穏　子ズミ殺シ　又

錫剉氏云　此和名モ未審

蛍休（シロニウノシ）

即俗称ノ金線重樓是也　上キノ字ニ出ス

石蒜（シビトバナ）

俗名曼珠沙華　天蓋花　前ノサノ字ニ来リ記ス

蜀羊泉（ヨクヤウセン）

一名羊泉　羊飴　漆姑艸

和名未知

秋海棠

一名斷腸艸　爛腸艸

石長生（シノブ）

一名丹艸　丹汝艸

俗呼名鳳尾艸（ヒナノヲカヘラ）

ヘ子レン艸　此和名未審

伊勢物語ニ若紫ノ摺衣忍ノ乱ト咏タル此艸也　奥列ノ忍摺ト云モ古ヘ此艸ヲ以テ

スリタル由云リ

一種紅茂艸　和名未知

忍艸

古来説アリト雖未ニ的當ヲ請ニヲ擧テ之ヲ辨ゼン

一萓艸　尾松　芦

右三種忍艸ト云軒ニ忍艸イトアハレナリ云云

淋ス

一清少納言枕艸紙ニ云忍艸

淫ニ垣衣也皇朝拾六帖ノ歌ヲ引テ

昍のミ添ゆるやの妻なれや

人を忍の艸そ生ける

此歌ヲ取テ証據スト雖モ未穏

一或書ニ無名抄ヲ引テ

忍艸一名金露艸

細長ニシテ表青裏茶色ノ玉アリ採スルニ

此説ハ今云海金砂ノ一種ナリ

一和漢三才圖會本艸ノ土馬駿ヲ軒ノ

忍ト訓ス

右三説アレトモ云ズ未タ的當セス予謹テ

按スルニ新古今集第十一巻戀花園左太臣公

忍艸の紅ふ…

我恋ハ色ゆやおなますず

軒の忍も

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　ガラス使用

忍艸ハ萓の事ナルベシ凡数千艸アレド秋ニ至リ
紅葉スル艸ハ萓ヨリ外ニ聞モ及ズトナリ葉ニ
此歌ヲ見テ古来ノ紛シキ説初メテ解リ
古今の忍艸　忍ぶ艸のおもかげ
萓ヲ以テ見トキワ葛面白シ

シノハ艸
小艸ノ名　或云笹
新古今集恋二後成忍也
ちぢの色のくさ艸のうつろひて

霜艸
刈萱トモ云又藺トモ云リ

六月菊

ゴンキクノ事　古ノ字ニ出ス

十様錦

ハゲイトウノ事

狸々袴

康隠百合
根ノ似タルヲ以テ名　百合ノ類ニ非ス

胡蝶花
古来射干艸ヲ謬テシヤガト訓ス圖會ニ
其誤ヲ受テシヤガトセリ本艸烏扇
射干一物トス是ヤ和名ニアフキト云

シシヤキ艸
大和本艸　コイ艸　シシヤキ艸二種トシテ出

セリ 蘭茄トモ 博落廻トモ云テ未タ決
定セズ按スルニコイ艸（シシヤまい）一物ニシテ
此根ヲ和黄芩ト称シテ用ユ關東ニテ
サーヤケ艸ト云是博落廻也

麝香艸（シヤカウ）

葉薄荷ニ似テヤヽ赤シ手ニテ其葉ヲ
シゴケハ其白ニ麝香ノ如シ故ニ名ク

秋明菊

東妻菊ノ事

朱艸（シユ）

大載明堂篇云朱艸日生二葉至十五日生ス
十五葉十六日一葉落終而後始云云

芝（シ）

歌ニシバフト咏スル古之字是也後世艸ヲ加
作芝字按スルニ芝靈芝トハ續キテ靈
艸也今云シバニハ非スイヤ古ト訓シタル未審今云シバ圖會ニ訴（ウツタヘ）謂
結縷艸是也一名鼓筆艸又云結縷
艸此一種葉似（ニテ）絲芝（トスキノウ）秧而無枝梗其根
細似（テ）蔓相延結云云此艸ノ細小ナルヲ高
麗芝ト云又原野叢茂リ冬枯レ火ヲ放テ
焼ク此ヲ焼野原ト云春雨ヲ得テ青艸生ス
之ヲ若艸ト通称シテ云

支蘭（シラン）艸

狼牙艸ノ別名 和名駒ツナキ又犬牙艸

繡線菊（シモツケ）

一種木ニ繡線菊（シモツケ）アリ俗下野ト云此艸
十リ彼ハ木也別種

紫雲菜

和名未知

紫羅襴花（シシウラン）

圖會ニ一種トシテ載タリ大和本艸ニアヤメ
ト訓ス 前ノ波ノ字ニ出ス

潮風艸

四種圖會

白糸艸

金盞菜（シナノキク）

一名地冬瓜菜

牛尾菜（ヒツヂ）

紫香蒿

扯根菜

女婁菜

三種和名未知 以上五種 救荒本艸

斜蒿（シヤ）

雀児綿（シヤクシメン）草

二種 救荒野譜 和名未知

撞竹（シヤウケ）芽菜

和名未知 救荒本艸

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406　ガラス使用

蒔蘿（シロ）

本艸ニ小茴香トス按スルニ圖會ニ本艸蒙筌ノ説ヲ引テ茴香ニ非ストシテ一種トシ載タリ又云蒔蘿ハ波り来らズ本邦ニモト ヨリナシト云一名慈謀勒 蠻語也後可考知名クレノヲモ 五葷ノ一也

生瓜菜

和名未知 本艸菜滑菜部

紫背金盤

和名未知

蓬朶（シタ）

昂胡蓬朶

鹿羅婆羅（シヤウバラウ）艸

天竺ノ艸也

蛇蘭（シヤケン）艸

本艸虎杖 附錄

穀部

白豆（シロアツキ）

一名飯豆時珍云小豆之白者俗呼干霊ノ下ト云

薏苡仁（シユズタニ）

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406

ガラス使用

一名解蟲　音南　芑實　薏苡　薏米　音意　作糥
救荒本艸名回々米　屋菜
艸珠児　西番蜀秫　薏珠子　又
菩提子　タウムキト訓ス　仝
一種川穀　シユズタマト訓ス
按スルニ時珍云圓而殻厚堅硬者（ナルモノ）即菩提
子也即是也同種ニシテ穀ニ厚薄アルノミ
一物也本邦肥前ノ産名アリ

菜部

紫蘇

一名赤蘇　桂荏
俗呼名縮緬紫蘇　時珍云痧地者面青
背紫夫紫蘇ハ藥能発汗ノ功アリ　又
菜蔬トシテ解魚毒進食良ノ功アリ野菜
中之美者也
實名蘇子　降気去喘之功勝タリ
八九月穂ト共ニ採テ菜食ス
一種回々蘇　名花紫蘇
按スルニ前ノ紫蘇ト一物ナリ名ノ別ナル
ノミ也
一種水蘇　一名雞蘇　香蘇　芡荏
荏苒　龍脳薄荷

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

按スルニ蘇ノ類種ニシテ非食用ニ臭気
可悪

越冬(シウ)瓜

一名菜瓜　稍瓜　羊角瓜　白瓜
和名アオウリ　源順云女臂　即白瓜也
本邦白瓜ト称スルニ種アリ一種関東ノ俗ノ
苑丸ト称スル斯京畿ニ所謂(イハユル)アオウリ也又
関東ニテ白瓜ト称スルハ諸國ニテ皆種ルノ白
瓜也野菜譜ニ云越瓜餘國ニ種テ利アラズ
故ニ民多不種此ハ関東ニ云花丸ニシテ餘
ノ土地ニ不應也真ノ白瓜ナリ江戸ノ法言ニ
花丸・京ニテアオウリ　葉黛(マユズミ)ニテツケ瓜

今諸國通ジテ白瓜ト云ヒ青瓜也即越瓜ノ
一種ニシテ同種ナリ
一種俗ニ丸漬瓜ト云　又青瓜氏云　又
漬瓜
前ノ白瓜ニ比スルニ皮厚ク硬シ下品ノ
按スルニ苦丁香アリ此漬瓜ノ蔕ヲ用ユルニ
吐方ノ功勝レリ味苦

苘蒿(シンキク)

俗呼テ高麗菊ト云又無盡灯ト称ス
此艸四季ヲ通テ種ルニ絶スト故ニ無盡ノ
名アリ佳蔬

珊瑚菜(シヤコサイ)

国立国会図書館　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406
ガラス使用

陰ニ防風ト云首春多用香烈ノ気甚シ
相刻ス塚ヨリ多出ス沃地ニ宜シ

萱艸

使君子
一名留求子
和名カラクサナシ

赤地利
一名薜荔　五毒艸　五葉藤　蛇莇
山蕎麦
和名未知　大和本艸　イシミカハ

雲實（ウンジツ）
一名員實　雲英　天豆　馬豆
羊石子　苗名艸雲毋　臭艸
粘刺
和名川原藤　ハマサケ
毒艸也不可レ近レ口邊
蛇結

紫金藤
一名山丹艸　和名未知

常春藤
一名土鼓藤　龍鱗薜荔
松岡先生云冬枯ヌツタ
冬枯ヌツタ　同種ナルベシ
本艸ニ地錦

水艸

薄菜（ジヨウサイ）

一名茆（卯ノ二音）　水葵　馬蹄艸　露葵　葵

又蒓菜　蓴

和名ヌナハ

水ノ面ノ浮ミ生ズル物ヲ云ナルベシ

古張輸ノ中ノ蓴羹ノ鱸魚ヲ思テ故郷ヘ

帰タルハ此艸也

龍鬚（リウモ）菜

俗白藻ト云蒲前ニ多産ズ

菌蕈

椎茸（シイタケ）

諸國ヨリ出ル二種アリ一種乾シテ肉薄ク

裏アカキモノアリ香気少シ味劣ル一種肉

厚ク裏白キアリ香気甚シ味亦勝タリ

皆一物ナリ菌中ノ上品王産貴人ノ饌食

ニ供ス生ハ乾シタルモノニ不及也

濕地茸（シメジタケ）

千本シメジアリ一本シメジアリ味美無毒

乾シタルモノ生ニ不及也

特
7
406

国立国会図書館　　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『艸花銘志 7巻』 請求記号 特7-406

ガラス使用